

『富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会』第2回会合及び研修会を開催

～ 青少年の安全・安心なスマートフォン利用の環境整備に向けて活発に意見交換 ～



連絡会で挨拶する伊丹局長

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成26年3月19日（水）、富山県民共生センターにおいて、富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山西 潤一 富山大学教授）の第2回会合を開催し、構成員等19機関から関係者27名が出席しました。

冒頭、伊丹局長が「平成25年度の内閣府の調査結果によると、小学生が所有する携帯電話のスマートフォンが占める割合は約16%と高くなっており、小学校を含めた対応が必要。また、4月の新入学、新学期の時期を捉え、周知啓発活動を行っていくことが効果的であり、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を国、関係団体、事業者、利用者等と連携して集中的に周知啓発活動を行うことが重要。今後とも必要な情報を提供していくので、引き続き、協力をお願いしたい。」と挨拶しました。

連絡会では、山西座長の進行により、設置要綱の改正、平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画が承認されたほか、総務省の取組として「ソーシャルメディアガイドラインの普及促進」や「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を説明しました。また、構成員の取組では、富山県PTA連合会、富山県高等学校PTA連合会及び北陸携帯電話販売店協会が県内における普及啓発の取組状況などを報告しました。



座長の富山大学の山西教授

研修会では、構成員のほか教育、警察の関係者や e-ネットキャラバン講師等60名が参加し、高橋 誠 氏（LINE株式会社 政策企画室）が、「LINEのご紹介と、子どもにネットを使わせる際の注意事項」と題して、LINEの特徴と利用方法、青少年がLINEを利用する際の留意すべき事項と対策などについて講演しました。

その後の意見交換では、山西座長の司会により進められ、参加者からは講演の申込方法や既読機能の設定に関する質問等があり、技術的な解決方法も必要であるが、e-ネットキャラバン等の経験を通して、青少年に人と人との関係や人間社会のルールを教えていくことの重要性について意見交換が行われました。



連絡会の第2回会合



講演する講師の高橋 誠 氏



多くの関係者が参加した研修会

お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4422